

北関東は浦和がV。2008年リトルシニア関東大会決勝は28日、新座市営球場で行われ、浦和が大宮に5-2で勝って優勝を決めた。昨秋の関東王者が連覇に向け、絶好のスタートを切った。

# 関東も先輩に統け！

大宮が先制

準決勝が延長10回の大熱戦。そのため決勝は予定より1時間以上遅れてスタジアム。先発は大宮は背番号5の鈴木祐幸、浦和は背番号15、1年生の中井勇気だ。先制したのは大宮。2回

裏、2死一塁からキャプテンの浦本大輝が左中間へターミリーアーを放つた。

浦和、逆転！

直後の3回表、浦和は2死から反撃。永井祐也が死球、鶴田紘士が逆うわない

バッティングで左中間にはじき返すと、続く大南雄太がセント一前へ同点打。さ

らに巧打者・阿部健太郎がライト前に運び逆転に成功した。

浦和は5回にも2死一、二塁のチャンスを作ると、大宮は投手交代。だが、浦和は5回にも2死一、二塁のチャンスを作ると、大宮は投手交代。だが、浦

△決勝戦  
大宮 0020300  
01000100  
— 25



北関東支部を制した浦和シニア「関東大会でも優勝するぞ」

あと少しで3ランとい  
う大二塁打で2点をた  
たき出した浦和・阿部

中井は「昨日（準々決勝）で投げた疲れがあつて不安だったけど、打たせて取る自分のピッチングがでかいです」と、これまた堂々とコメントしていた。

第一試合に行われた加須

まつたく無駄のない、そして無理もないきれいなフォームから、伸びのある球をコーナーにきちんと放る浦和の1年生・中井。マウンド上の落ち着き、ピッチングでも動じず打者に向かっていく姿も、とても1年生とは思えない。3死球はしまつたが、全然練習していないんですよ。サインもほとんどない」と苦笑い。これから練習を重ね、秋の関東

大宮も6回裏、敵失で1点を返したが、最後まで浦和の1年生投手・中井を打ち崩せず。浦和が大宮に5-2で快勝し、関東大会連覇に向けて弾みをつけた。

中井が好投

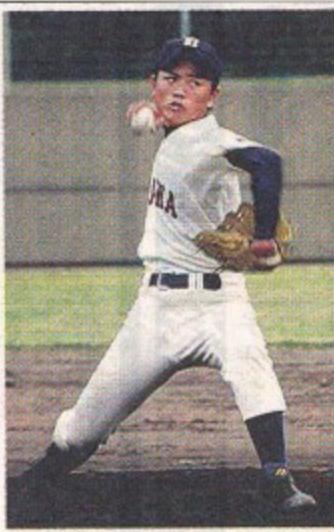
「まだ、全然練習していないんですよ。サインもほとんどない」と苦笑い。これから練習を重ね、秋の関東

大宮、反撃及ばず

大宮も6回裏、敵失で1点を返したが、最後まで浦和の1年生投手・中井を打ち崩せず。浦和が大宮に5-2で快勝し、関東大会連覇に向けて弾みをつけた。

大宮が2安打3打点

○：打で貢献したのは3番の阿部健太郎。3回の逆転打に続き、5回にはあと50球で3ランという、大二塁打で貴重な追加点をたたき出した。「本塁打にならなくて悔しい」という質問に「いや、後ろにつなげたのでよかつたです！」とキッパリ。「自分の代は弱いと言われてきたので、何としても優勝したかった。関東でもつなぎの野球で勝つていきます」と力強く話した。



決勝で快投した浦和の1年生・中井投手

